

前年度途中に移転した新事業所での活動が各事業ともしっかりと定着し、また利用者が色々な体験ができるように少しずつその幅を広げてきている。日中活動として成人の生活介護、児童の放課後等デイサービスをそれぞれに担当職員を中心に行っているが、同じ施設で行う利点を生かし、相互にフォローし合い、またそれぞれの活動場所や道具等の共用できるものは有効に活用した。

環境面では、施設隣の広場にリュウノヒゲや果樹やハーブを植えたり、駐車場との仕切りにアジサイ等を植えたりして整備し、外遊び等の活動や避難訓練時の避難場所、またあゆみ祭の会場としても活用した。

地域の中での活動として、例年と同様に地域の学校との交流会や行事への参加を行ってきた。また3月には昨年度に引き続き雛段の飾りを前にお茶会を開催し、地域の高齢者サロンの方々と交流し、あゆみの活動や利用者の事をより知って頂く機会となった。

職員状況としては、年度途中に非常勤職員1名がオープンスペース‘AYUMI’より異動（生活介護事業）となった他、パート職員を生活介護事業2名、サポート事業（放課後等デイサービス・居宅系サービス）2名新規採用した。一方で年度末には常勤職員が生活介護事業2名・サポート事業1名が各人の事情により退職となった。

#### ◎生活介護（ふきのとう班）

昨年度から引き続き、12名+1名（オープンスペース‘AYUMI’より体験として）の利用者が身体機能の保持と生活リズムの安定をできるよう新施設の活動室をベースに活動してきた。またオープンスペース‘AYUMI’と共同でクラブやサタデーズ、イベント等を行う他、音楽活動やトランポリン等の活動には班単位での参加もあり、相互に利用者の交流もあり、活気ある活動ができた。

基本的な活動プログラムは昨年度と変わりなく、午前中は散歩や室内運動、日によってポスティングやパン配達を行った。室内運動では、新たに座位の維持や骨盤マッサージ効果のある「エアリーシェイプ」を導入した。午後は曜日別に音楽・トランポリン・モーターアクティビティ・創作のプログラムを行った。創作活動では季節毎の壁面飾り等を作った他、梅シロップや味噌作り、苔玉や小豆枕の制作、陶芸等、様々な体験ができるよう工夫した。

年度末に急病により約1カ月間欠席となった利用者は居たが、他は概ね毎日元気に出勤されていた。

#### ◎放課後等デイサービス

曜日毎の活動内容（月：料理、火：運動、水：お楽しみ、木：創作、金：音楽）がしっかりと定着し、各曜日担当のスタッフを中心にそれぞれの内容を深めていった。長期休暇もその曜日別内容をベースにしつつ、随時プール等の外出プログラム等も取り入れた。利用者の中には、家庭の事情によって利用日を決められている方もいるが、児童自身が内容を楽しみに利用する方も増えてきており、年間利用数は約3割増加した。年度中に9名の新規利用者が加わり、3月末をもって、4名の利用者が卒業された。

年度後半には、放課後等デイサービスガイドラインに掲げられている自己評価を行う為、保護者向け・スタッフ向けそれぞれにアンケートを実施し、次年度初めに集約して公表する予定をしている。

#### ◎居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護・

スタッフ1名が介護福祉士資格を取得し、またスタッフ2名が行動援護従業者養成研修を、スタッフ1名が介護職員初任者研修を修了した。

居宅介護ではこれまで通り利用者宅での家事や身体介助及び入浴の支援、通院時の付き添い等、固定的なニーズに応じてきた。緊急に地域で暮らす視覚障がいのある方の子育てを含む家事支援というニーズに応える事もあり、以後継続している。

行動援護は従来より平日の夕方や週末を中心に余暇支援のニーズに多く応えてきている。新たに平日日中のプール等色々な活動への付き添いも増え、利用ニーズも多様化してきている。

同行援護では2名の利用者の外出を継続している。重度訪問介護は今年度も対象者がいなかった。

#### ◎地域生活支援事業（移動支援・日中一時支援）

移動支援では、従来通り週末の余暇支援や、平日の仕事後や放課後のお出かけや、体力作りを兼ねた散歩の同行等の利用があった。特に土曜日の余暇支援の利用は前年度よりも更に増加した。

日中一時支援は、成人の日中プログラム「ちょこっとステイ」への参加時に対象者は限られるが固定的な利用があった。クリスマス会には今年度も日中一時支援を利用して多数の参加があった。

#### ◎インフォーマルサービス

今年度も「ちょこっとステイ」（日中一時支援以外）やレスパイトサービス、送迎サービスを行った。また、実費プログラムの「ケチャケチャ」も継続的に前後期5回ずつ実施した。前年度まで徐々に参加者が増えて10人の定員を超えて参加して頂いていたが、太鼓の数に限りがあったため同時に演奏できなかつたり、時間がかかり過ぎたりといった問題があった為、定員を超える人数は次期以降に参加して頂くようにした。